令和２年度

兵庫県立神戸北高等学校

特色選抜小論文（作文）

解答や配点に関するお問い合わせには応じることはできません。

注意

令和２年２月１７日（月）実施

1　この用紙は，「開始」の合図があるまで開いてはいけません。

2　課題及び解答用紙は，３枚（その１～３）です。制限時間は 50 分です。

3　課題は，１～10 の設問があります。

4　**「課題及び解答用紙　その１～３」の各左上の欄に受検番号**を書きなさい。

5　解答は，**すべて「課題及び解答用紙　その２～３」の指定された解答欄**に書きなさい。

6　設問で字数制限のある箇所は，句読点も１字とします。

7　「終了」の合図で筆記具を置き，課題を机の上に置いて退室しなさい。

受検番号

令和２年度　兵庫県立神戸北高等学校　特色選抜小論文（作文）

課題及び解答用紙　その１

次の文章を読み，「課題及び解答用紙　その２～３」の課題に答えなさい。

著作権保護のため、問題文を墨消しにしています

2011年２月，こんなニュースが発表されました。

「日本人初のコマンダー誕生！」

これまで宇宙飛行士として，３度にわたるミッション（任務）を成し遂げてきた若田光一が，2013年の終わり頃から開始される飛行において，日本人として初めてコマンダーに任命されたのです。

コマンダーとは，船でいう船長のことです。若田は，宇宙にある国際宇宙ステーションに，他の宇宙飛行士とともにおよそ６か月間滞在し，最後の２か月間はコマンダーとして，国際宇宙ステーション全体の指揮をとるのです。

地球から遠く離れた宇宙に長期間いることは，とてもたいへんな仕事です。その間，こなさなくてはならないミッションもたくさんあります。そんな中で，それぞれ違う文化を持つ，さまざまな国から集まってきた宇宙飛行士たちをまとめなくてはなりません。

「『和の心』を大切にして，チームをまとめたい。」

ある新聞の取材に，若田はこう答えています。彼はいったいどのようにして宇宙飛行士になったのでしょうか。

1969年７月20日，若田は５才のときに，テレビが映し出すある光景に，すっかり心を奪われていました。アメリカの宇宙船アポロ11号が，世界で初めて月に着陸した映像が生中継されていたのです。

「こんな遠いところへ行って，仕事をしている人がいるんだ。すごいなあ……。」

もちろんこの頃の若田は，宇宙も，月も，地球ですら，何のことやらよくわかっていません。それでも①食い入るようにして，テレビの画面を見つめていました。

埼玉県大宮市に生まれた若田は，②のびのびと外で遊ぶことが大好きな子どもでした。友達を誘ってザリガニ釣りに行くこともしょっちゅうです。特に野球が好きで，小学３年生から６年生までは，リトルリーグの③チームに入っていました。勉強よりも遊ぶことに夢中で，成績はそれほど優秀なほうではありませんでした。

高校生になると，野球部に入部しました。ところが，毎日一生懸命練習していたにもかかわらず，なかなか試合に出してもらえません。彼よりも上手な選手がたくさんいたのです。それでも，途中で投げ出すことなく，３年間がんばり続けました。結局最後まで補欠のままでしたが，このときの，たとえ満足のいく結果が出なくても最後までやり通した経験が，宇宙飛行士になるときに大いに役立つことになるのです。

1991年８月，28才になった若田は，ある新聞記事に目を奪われていました。

④「宇宙飛行士候補者募集」

確かに，そう書いてあります。

若田の頭の中に，幼い頃に見たアポロ11号の光景がよみがえってきました。このとき，若田は羽田空港で飛行機を整備する技術者として働いていました。小学生の頃，初めて家族で飛行機に乗ったときに，たまたま操縦席を見せてもらったことがあり，それ以来飛行機に夢中になっていたのです。そして，高校卒業後，大学や大学院で飛行機について学び，この仕事についたのでした。

もちろん，飛行機にかかわる今の仕事も，とても気に入っています。でも……

宇宙飛行士の候補者に選ばれるのは，数百人の応募者の中から，たった１人か２人

「だめでもともとなのだから，逃うくらいなら応募してみよう。」

そう考えた若田は，思い切って応募書類を送ります。これが，「宇宙飛行士・若田光一」誕生の，最初の大きな一歩だったのです。

「だめでもともと」という予想に反して，難しいテストや検査，面接などの試験に次々と合格していきました。今までどおり，飛行機の整備の仕事を続けながらたくさんの試験をこなしていくのは，簡単なことではありません。最終試験が終わったときには，応募してからすでに8か月が過ぎていました。

そんな苦しい日々の中でも，若田は「決してつらくはなかった」と言います。同じく宇宙に行きたいという夢を持つ，大切な仲間たちと知り合うことができたからです。この仲間たちとは，何年も経った今でも連絡を取り合っているそうです。

⑤厳しい試験を乗り越え，宇宙飛行士の候補者に選ばれた若田は，その後アメリカにあるジョンソン宇宙センターで，宇宙飛行士の資格を取るための訓練に挑みました。

外国でのひとり暮らし，慣れない英語での会話，宇宙飛行士に必要な知識を身につけるための勉強など，これまで一切していないことだらけの毎日です。

特に言葉の壁はとても大きな問題でした。授業も訓練ももちろん全て英語で，教官や仲間の話すスピードが速くてなかなかついていけません。本物そっくりにつくられた宇宙船の模型の中での訓練は，飛び交う英語が聞き取れず，宇宙船を墜落させてしまったこともあります。これが，もし本番だったら，たいへんなことになります。いつもは前向きな若田も，この頃はかなり落ち込んでしまいました。でも，いつまでもくよくよしている若田ではありません。

「早く正式な宇宙飛行士になりたい」という一心で，とにかく毎日一生懸命勉強しました。きっとこのとき，高校の野球部で身につけた我慢強さが発揮されたのでしょう。

厳しい訓練に耐え，さらにそれが終わってからも，毎日英語の勉強に取り組んだかいあって，若田は日本で4人目の宇宙飛行士として，ＮＡＳＡミッションスペシャリスト（注）の資格を得ることができました。このときもらった小さな紙一枚の認定証は，大切な宝物となったのです。

3年後の1996年，若田は初めて宇宙へと旅立ちました。そして，ロボットアームという装置を操作し，宇宙空間をただよう人工衛星を回収する大きなミッションに挑みました。

ロボットアームは，長さが15メートルもある，大きな人間の腕のような機械です。これを宇宙船の中にある操縦室で，たくさんの画面に映し出される映像を見ながら操作するのです。もちろん，何度も練習はしてきましたが，重力のない宇宙の軌道上で，しかも動いている人工衛星を捕まえるのは，たいへんな作業です。

仲間たちが見守る中，若田が動かすロボットアームはまるで本物の人間のように，しなやかに動き，見事人工衛星を捕まえることができました。

さらに2000年には，2度目の宇宙飛行を無事に終えます。そして2009年の飛行では，かんぽ国際宇宙ステーションに約4か月半も滞在することになりました。

宇宙ステーションという限られた空間の中で，みんなで仲良く長期間暮らすためには，自分勝手な行動をとってはいけないという強い意志と，仲間を思いやる気持ちが何よりも大切です。

若田は，一緒に宇宙へ行く仲間たちとともに，これまで以上に厳しい訓練を乗り越え，日本の実験施設「きぼう」を完成させるという大仕事を終えて帰ってきました。

若田の3回にわたる飛行は，日本人宇宙飛行士として最も多いことになります。

そして，ついに今度は日本人初のコマンダーとして，リーダーシップを発揮することを求められているのです。それは，どんなときもくじけず，一つ一つのことを大切にして仲間たちとともにがんばってきた若田の人柄が，リーダーにふさわしいと評価されたからなのです。

（注）ミッションスペシャリスト：スペースシャトルの運用全般を担当し，ロボットアームの操作等をすることができる。

（ 高橋みか著『10分で読める伝記　若田 光一』より）

受検番号

令和２年度　兵庫県立神戸北高等学校　特色選抜小論文（作文）

課題及び解答用紙　その２

課題　以下の設問に対して，適切な答えをそれぞれの解答欄に書きなさい。設問は１～10 まであります。

※受検者は
記入しない。

１　**下線部①**とは本文中ではどのようにテレビを見る様子を例えた表現か，それを説明したものとして最も適切なものを，次の**ア～エ**から１つ選んで，その符号を書きなさい。

ア　楽しんで見る様子
イ　警戒して見る様子
ウ　真剣にじっと見る様子
エ　ぼんやりして見る様子

解答や配点に関するお問い合わせには応じることはできません。

２　**下線部②**のカタカナを漢字に改めなさい。

３　**下線部③**のカタカナを英語に改めなさい。

４　アポロ 11 号が月面に着陸した 1969 年より後に起きた出来事は何か，次の**ア～エ**から１つ選んで，その符号を書きなさい。

ア　日本初の東京オリンピックが開催された。
イ　石油危機（オイルショック）が起きた。
ウ　ポツダム宣言を受け入れた。
エ　サンフランシスコ平和条約を結んだ。

５　**下線部④**について，28 歳の若田さんが新聞記事に目を奪われたときの気持ちについて，それを説明したものとして最も適切なものを，次の**ア～エ**から１つ選んで，その符号を書きなさい。

ア　迷いやためらいは一切なく，試験に応募しようと思った。
イ　アポロ 11 号についての特集に感動したので，試験に応募しようと思った。
ウ　羽田空港で働く気持ちがなくなり，試験に応募しようと思った。
エ　応募者数の多さが気になったが，試験に応募しようと思った。

６　**下線部⑤**のように，若田さんが厳しい試験を乗り越えられた理由として最も適切なものを，次の**ア～エ**から１つ選んで，その符号を書きなさい。

ア　宇宙への夢を持った大切な仲間たちと知り合うことができたから。
イ　試験の日々を過ごす間，家族全員が若田さんを励ましていたから。
ウ　試験中は整備の仕事を休むことができ，時間に余裕があったから。
エ　自分の夢を実現するための行動は全て充実したものだと感じたから。

７　**二重下線部**「地球から遠く離れた宇宙に長期間いること」について，これを行うために必要なことで最も適切なものを，次の**ア～エ**から１つ選んで，その符号を書きなさい。

ア　自分勝手な行動をとらないという強い意志と，仲間を思いやる気持ち。
イ　激しい重圧に耐える心の強さと，宇宙について絶えず思考する探求心。
ウ　他国の人と多様に触れ合える言語力と，心身の健康を保つ自己管理能力。
エ　常に全力を尽くすことのできる体力と，様々なことを考えられる幅広い教養。

８　若田さんの４回目の宇宙飛行における任務は何か，それを説明したものとして最も適切なものを，次の**ア～エ**から１つ選んで，その符号を書きなさい。

ア　人工衛星の回収
イ　英語での会話
ウ　日本の実験施設「きぼう」の完成
エ　日本人初のコマンダー

受検番号

解答や配点に関するお問い合わせには応じることはできません。

令和２年度　兵庫県立神戸北高等学校　特色選抜小論文（作文）

課題及び解答用紙　その３

９　若田さんは高校生の部活動において野球部で補欠でしたが，途中で投げ出すことなく３年間がんばり続けました。では，あなたが最後までやり抜いた経験を通して成長したことを具体的に 200 字以内で述べなさい。ただし，下の解答欄を原稿用紙として使用し，**横書き**で書くこと。

100 字

200 字

10　若田さんは厳しい訓練に耐え，宇宙飛行士になるという夢を実現させました。では，あなたは神戸北高校生になるにあたって，３年間どのように努力して自分の夢を実現させたいと考えていますか。神戸北高校への志望動機を含めて具体的に 400 字以内で説明しなさい。ただし，下の解答欄を原稿用紙として使用し，**横書き**で改行に注意して書くこと。

100 字

200 字

300 字

400 字